

平成21年度大学院修了式告辞

皆さん、大学院を修了され大変おめでとうございます。皆さんの研究を指導された先生方、そして御家族の方々にも心からお慶びを申し上げます。

皆さんは自分で考え、自分の手で実験を行い、自分でデータや資料を集め、解析しすばらしい研究論文を作ったことと思います。

皆さんの研究は、例えそれが小さな発見であっても、それに関しては、皆さんが世界の第一人者です。しかし、それがすぐ社会に役立つかということそうではありません。社会で役立つ研究は世界中の多くの研究者によってなされた小さな発見の積み重ねの上に成り立つものです。社会に必要な研究やすぐれた発見は大きなパラダイムの転換をおこします。最近、ポール・ディラックの現代物理学講義という本を読みましたが、ボーアやアインシュタインの論争、そしてシュレジンガーやハイゼンベルグの研究が生き生きと書かれ、豊かに広がる智の世界がみえます。ポール・ディラックも他の人達もいずれもノーベル物理学賞の受賞者です。自由な発想でのびのびと研究を行うことが大切です。しかし、現在、世界は不況におちいり、研究もすぐ役立つものが求められたりしますが、それは研究の停滞をおこし結局は社会に大きな損失を与えます。私共の社会が本当に発展し、より良いものになるためには、大学院の修了者がもっと社会で活躍出来るようになる必要があります。その為に私共の大学は皆さんの活躍する場を広げようと手をつくしつつあります。不況などの経済問題の他に環境破壊や温暖化の問題など様々な重要な問題が山積しています。皆さんが将来に向け益々活躍されることを期待し花向けの言葉といたします。

平成22年3月23日

琉球大学長

岩政 輝男